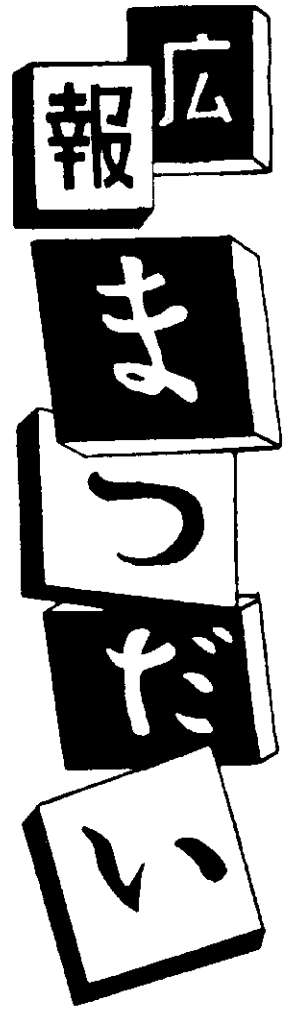


◆特集 歓迎…早稲田大学



早稲田大学校歌

早稲田大学校歌

相馬御風 作詞
東儀鉄笛 作曲

一、都の西北 早稲田の森に

聳ゆる聲は われらが母校

われらが日ごろの 抱負を知るや

進取の精神 学の独立

現世を忘れぬ 久遠の理想

かがやくわれらが 行手を見よや

わせた わせた わせた わせた

わせた わせた わせた

二、東西古今の 文化のうしほ

一つに渦巻く 大島国の

大なる使命を 担ひて立てる

われらが行手は 窮り知らず

やがても久遠の 理想の影は

あまねく天下に 輝き布かん

わせた わせた わせた わせた

わせた わせた わせた

三、あれ見よかしこの 常磐の森は

心のふるさと われらが母校

集り散じて 人は変れど

仰ぐは同じき 理想の光

いざ声そろへて 空もどろに

われらが母校の 名をばたへん

わせた わせた わせた わせた

わせた わせた わせた

「紺碧の空」

住 治男 作詞
古関裕而 作曲

一、紺碧の空 仰ぐ日輪

光輝あまねき 伝統のもと

すぐりし精鋭 闘志は燃えて

理想の王座を

占むる者われ等

早稲田 早稲田

覇者 覇者 早稲田

早稲田 早稲田

二、青春の時 望む栄光

威力敵無き 精華の誇

見よこの陣頭 歡喜あふれて

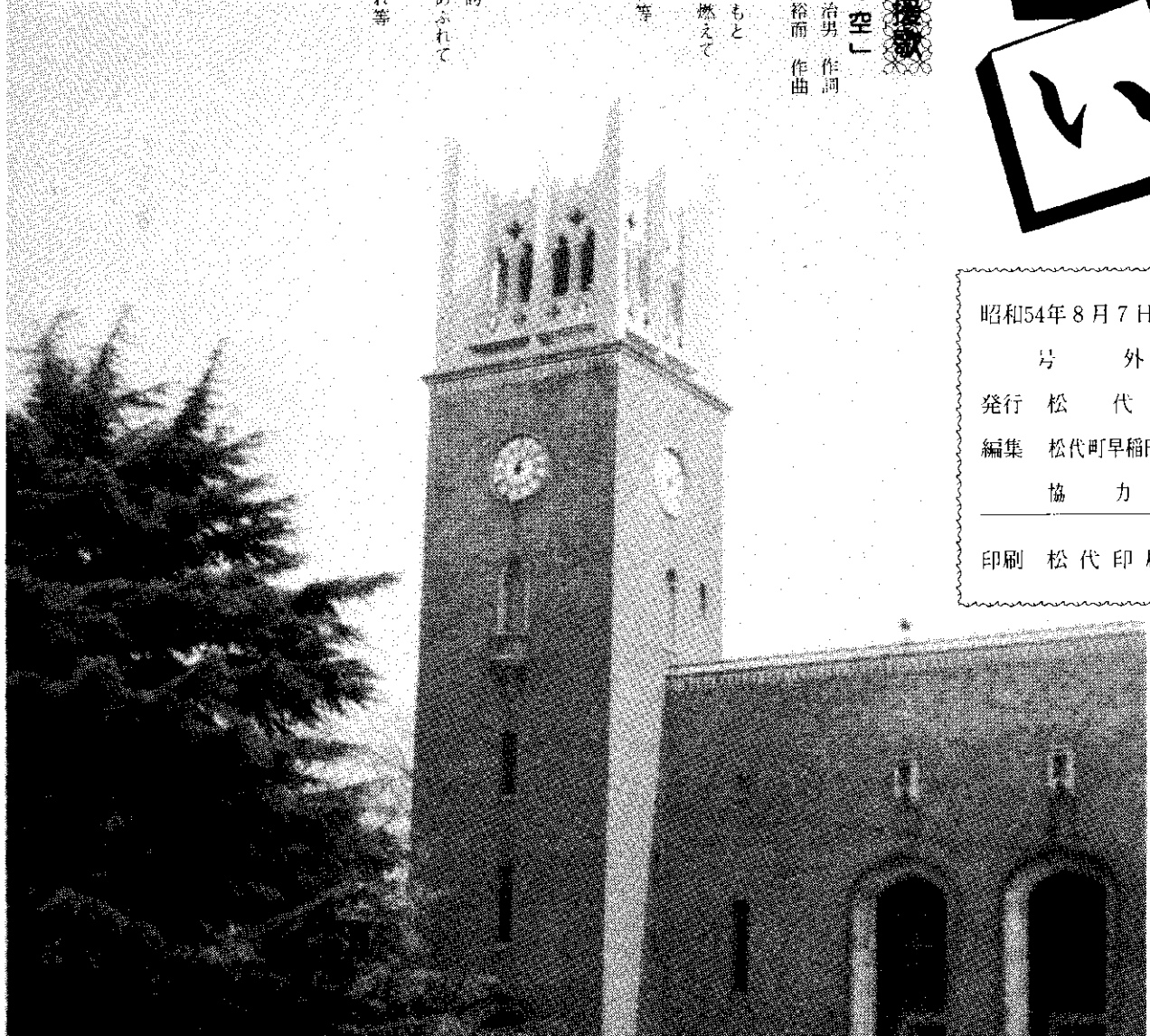
理想の王座を

占むる者われ等

早稲田 早稲田

覇者 覇者 早稲田

早稲田 早稲田



昭和54年8月7日発行
号 外
発行 松 代 町
編集 松代町早稲田大学
協 力 会
印刷 松代印刷所

松代町の皆様へ

早稲田大学総長室長 大見川 敏 夫

昨年来、松代町にて統合中学校設置のため廢校になる山平中学校跡地の活用について、町より大学側に誘致のお話があり、大学として種々検討した結果、正式にお譲り頂くことになりました。大学として今後その活用については、今年の三月二十日付の新潟日報に出ていたように、現在長野県軽井沢町に追分セミナーハウス（教員と学生が起居を共にして学び運動をする）に準じた施設にしたいと考えております。ただその折町長さんをはじめ皆様とお話をしたことですが、交通機関が現在では若干不便な面がありますので、北越北線、国道二五三号線の改修、整備ができるまで、全面的に施設を改修するには少々日時がかかるかもしれませんが、それまでの間は、町民グラウンド予定地であった場所の整備とか、建物の若干の手直し程度になるかもしれません。長い目で見て頂きませんか、長い目で見て頂きませんか、長い目で見て頂きませんか、長い目で見て頂きませんか、長い目で見て頂きませんか。

の一端として、学生の音楽のバンドが二団体お招き頂き、町民の皆様は演奏を聞いて頂いたり、毎年実施されていると聞いた教育講演会に講師派遣の御依頼を受けたとのことも聞いております。

このようなことを積み重ね、やがて交通も便利になった折は、

教員、学生の施設利用もだんだんと多くなり、町の方々との接触も広がると思いますので、その節はよろしく御援助の程をお願いいたします。

終わりに、このお話が出てから今迄の間、秋山町長さんをはじめ町役場の皆さん、町議会の方々、島田教育長さんはじめ町の有志の皆様方の献身的な御努力、御好意を紙面をかりて、厚く御礼申し上げますとともに、盛夏に向かう折町の皆様の御健康と御健祥をお祈りいたします。

早稲田大学をお迎えするに当って

松代町長 秋山 利 作

早稲田大学の施設を松代町に誘致したらどうかというお話しを頂いたのは、たしか昨年の夏頃だったかと思えます。

とき恰も中学校統合に伴う、三つの空き校舎の利用について、県や県の東京事務所などを通じて、又役場内部でも幹部総ぐるみで適当な工場でもあればと探索中でしたので、誠に有難いお話だと思えました。

私が申し上げるまでもなく、早稲田大学といえば日本の大学の中でも超一流の有名大学であります。その大学さんが松代町

に来て下さるなど夢にも考えなかつたことでもあります。

非常に有難いお話ですので、町としてもできるだけのご便宜をおはかりしたい考えであることとを申し上げまして、それから積極的な誘致運動に乗り出したわけであります。

こちらからも再三にわたって大学を訪問したり、大学側さんからも現地調査や打合せなど再三にわたる訪問をいただいた結果、去る五月十五日に大学側からお出でいただいた、山平中学校跡地及び総合グラウンド予定地

附近の山林等を含め六万五千平方メートル（約二万坪弱）の売買契約を済ませたわけであります。

すでに奴奈川中学校跡地へは五月九日からマツダ電子工業さんが来て操業しておりますので、或る新聞が「過疎の松代両手に花」と書いておりましたが、大学進出による精神文化と工場進出による雇用就労の両面がかなえられたことになりました。

県内でも数多くの市町村で学校統合による空き校舎の仕末に苦心慘迫している中で、松代町は幸せだったと思います。誘致にご尽力を賜りました関係各位に厚く御礼申し上げたいと存じます。

去る七月十日に議員の皆さん方と、長野県にある早稲田大学追分セミナーハウスを視察して参りましたが、野球場、テニスコート、植物栽培地、ロッジなどが完備され、学習にスポーツに広く利用されておりました。大学側の説明によりますと、これに似たものを松代町に造りたいとのことでした。松代町ではこの他、冬のスキーが加わりまして、年間を通じて、教授、学生さんがお出でになられるようであります。

学校側では、地元の皆様さん

との交流を特に希望されておられるようですので、スポーツや講演などを通じて交流を深められ、教養と知識の源を汲んで頂けるなら、誘致申し上げた価値も十二分にあるかと存じます。

施設の建設整備には四、五年は要されるようですが、その際は、大学側で整備しやすい環境を作っていたらどうでしょうか、申し上げたいと思います。

町民各位におかれましては、温い気持ちで接しられまして、この受け入れが成功し、少しでも町に或いは町民各位にプラスになるよう今後のご協力を切望いたしました。ご挨拶といたします。

【註】「ゼミナール」 独語。

英語ではセミナーと言い演習。主として大学でおこなわれる教育方法の一つ。比較的少数の学生が教授の指導のもとに、自由な雰囲気の中で研究の発表、討議をする。多数の学生を対象とした講義が、知識の一方的伝達になりやすいのにくらべ、学生の自発的な研究的態度、発表能力、批判力が養われ教授、学生との人間的接触も期待できるなど、種々の利点や意義が認められ、各国の大学が採用している。

(事典より引用)

バンド紹介

ハーモニカソサイアティ

私たち早稲田大学ハーモニカソサイアティは今年第一〇一回定期演奏会を迎えます。二〇〇回を目指して新しい一步を踏み出す記

念すべき一年なのです。その年に松代の皆様と「ふれあえる」ということは、私たちにあって心に残るものになれそうです。現在部員は四〇名弱で、決して多い方ではありませんが、そ

れだけに家族的雰囲気にも包まれたサークルでもあります。部員間の付き合いはサークルを離れても微に入り細に巨り、緊密に結ばれています。ハーモニカという小さな楽器を主体としたサークルですが、現代の音楽感覚も取り入れ、ドラム、ベース、ギター、キーボード、マリンバ、

います。毎週三回、火、水、土曜日の練習日には、何処からともなく（キャンパスから、或いは下宿から……果ては雀荘から……）部員が集まってきました。ある者はハーモニカをくわえ、またある者はギター、ベース、アコーディオンを抱きしめ、なかにはドラムのスティックを投

げる者もいるなど、騒々しい中で、指揮者の視線を必死でかわしながら練習は始まります。松代の皆様とお会いできるのは、夏合宿を丁度終える日になりそうです。それだけに、合宿での練習に大きな励みとなります。少しずつではありますが、確実に（？…少し疑問も残る言葉です……）成長を続けている私たちの音楽をおききください。部員一同、八月になってお会いできる日を楽しみにしています。

早稲田大学フェスティバル開催ご案内

早稲田大学（ハーモニカソサイアティ）学生約60名来町
マンドリン楽部

◆記念演奏会

8月27日 午後1時より 松代小学校体育館
8月28日 午前9時より 蒲生小学校体育館

●歓迎式典 ●バンドの紹介・曲目の紹介 ●演奏会

▶演奏曲目

ハーモニカソサイアティ

フェスティバル・スターウォーズ・マッカーサーパーク
ペイネ・愛の世界旅行 他

マンドリン楽部

早稲田大学応援歌「紺碧の空」・イタリア民謡集・
クラシック音楽・日本の歌(民謡・童謡・歌謡曲)・
早稲田大学校歌

※松代の歌「渋海川エレジー」「バレーボールの歌」もお願いしてあります。

- 27日夜は学生さんから松代の盆踊りに参加してもらいます。
- いずれも経費の一部を負担していただくため、入場ご希望の方々に入場整理券をお求めいただきたいと思ひます。

◆記念講演会

8月28日 午後2時より 松代町総合センター

「地域開発について」

早稲田大学教授 戸沼幸市先生

主催・松代町早稲田大学協力会 後援・松代町・松代町教育委員会



第100回 記念演奏会

マンドリン楽部

松代町の皆さんこんにちは。
 私たち早稲田大学マンドリン楽部は、部創立以来六〇余年という伝統ある古いクラブですが、当楽部が新潟県へ行くのは本当に久しぶりです。

現在の部員数は約一二〇名と大所帯で、早稲田では珍しく女性の数が多いクラブです。

ここでちょっと楽器の紹介をしましょう。名称はマンドリン楽部となっていますが、実際はマンドリンばかりでなく、いろいろな楽器から構成されています。

まず皆さんおなじみのマンドリン。全部で八本の弦が張ってあり、二本ずつ同じ音になっています。各フレットを指で押さえながら、右手にピックを持って弦をはじきます。

そして、マンドラ、これはマンドリンをやや大きくしたもので、さらにマンドラを大きくしたマンドセロという楽器があります。

マンドリンといつも向かい合って弾く楽器にギターがあります。いつもは伴奏楽器になってしまうのですが、時には演奏会

ます。

演奏者はいつも椅子にすわっているのですが、たった一つ立ったままのパートがあります。それがベースです。あの大きな楽器をたくましい部員がしっかりとけんめい弾きます。

最後に管楽器としてフルートとクラリネットがあります。フルートの甘い音色、クラリ

ネットのどこかとぼけた音色は、合奏を一層おもしろく、そして味わい深いものにしてくれます。

こうした多くの楽器が集まると、楽しいマンドリンオーケストラができあがります。

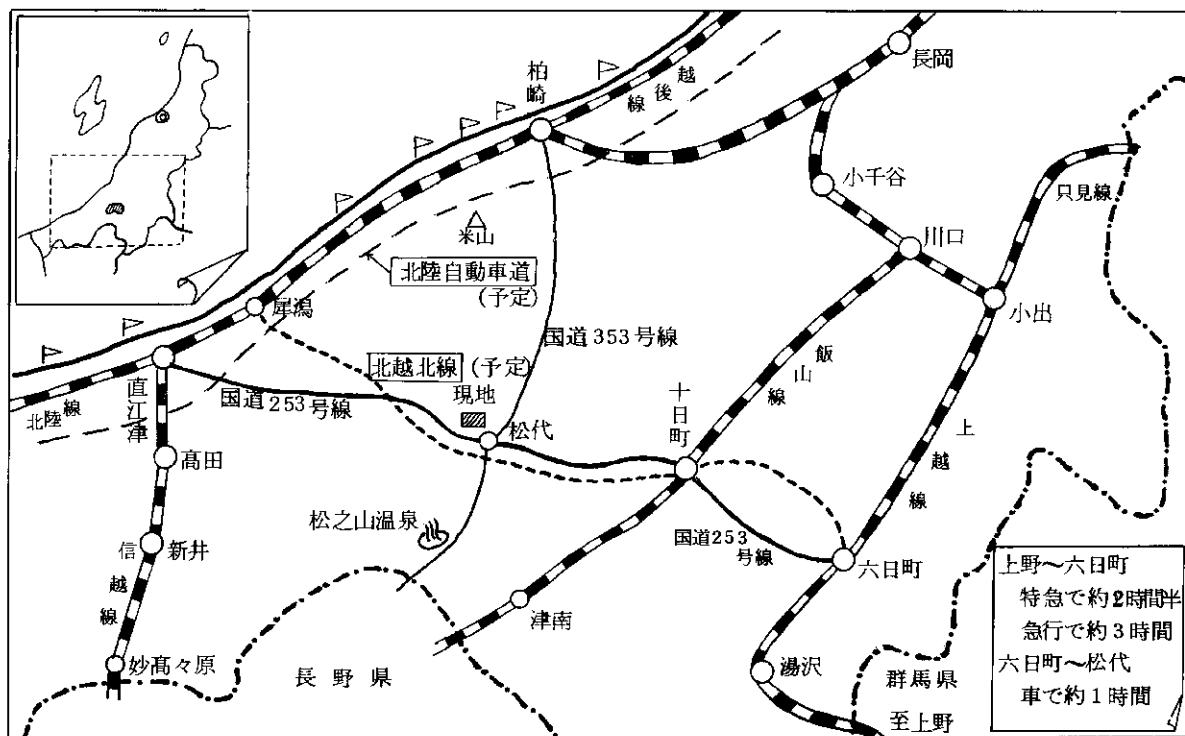
私たちは一年に二回の定期演奏会と他にいくつかの

で楽しいギター合奏を聞かせてくれ

大きな演奏会を行っています。毎日の練習はきびしいですが、やはりみんなで合奏をするのは楽しくてたまりません。そちらへ行った時には、ぜひ皆さんにマンドリン音楽の楽しさを味わってもらおうと、今から部員一同張り切っております。
 (マンドリン楽部幹事長 井上立雄 記)



(早稲田大学の皆様へ) 松代町への交通概要



歓迎！早稲田大学

早稲田大学セミナー誘致について

松代町議会議長 市川 璋 次

去る六月の定例町議会で、中学校統合により閉校となった旧山平中学校が、早稲田大学ゼミナール施設として開発利用されるという事で、これを譲渡する事に決定されました。

そこで、現在開発利用されている長野県追分町にある早大のゼミナール施設を、先般議会議員全員で視察して参りました。噴煙を続ける浅間山の麓、自然林を開発した用地五万坪の高原に、大(八〇名収容)、小(四〇六名)のゼミナールハウスが点在し、今年十月完成時には大小ハウス他雨天体操場、共同炊事場、共同野外便所等含め建物三十四棟となる計画、体育施設として野球場、バスケット、テニスコート七面が完成していた。早大の校旗を中央に翻々と並びかせ、静かな環境のハウスに、外人男女学生をまじえ、討議研究をする者、テニスコートでは外人女子学生が汗を流して練習をしていた。夏季だけの利

用であるが申し込みを捌ききれず、二泊三日で帰しているとの事。又、軽井沢、追分にスキー場があるが一般客でまんばいとなり、学生を受け入れる余裕がない。この様な状況から、はやく松代を開発し第二の追分としたい。夏の松代は日本海に近く、冬季は自然スロープを利用して初歩スキーも出来るので年間を通じて利用したい。という誠に我々の予想以上の学校側の説明に、町長はじめ議員一同大きな期待をこめ、一日も早い松代ゼミナール施設開発を心から希い、謝辞をのべて帰って参りました。全国各地、外国からも優れた学

生多数が学ぶ早大のセミナーとして、本格的に利用活動が始まった場合、松代町は一変する可能性をもつのではなからうか。住民との温い交流が地域に活気をよみがえらせ、将来、学術の研究に、大企業幹部に、又政界にと夢多い訪れる学生に、松代町の素朴な中にも人情味溢れる住民性と、四季に恵まれた自然の姿を深く印象づけることができたなら、いつの日かどこかで、なにか松代町発展につながるという事も期待され、この早大ゼミナール施設誘致は地域松代にとって素晴らしいことであると確信を深めた訳であります。

終りに臨み、この誘致の発端から成功まで蔭で惜しまぬ力をお貸し下さった関係者と、町長の勇断に心からの感謝を申し上げて所感といたします。

早大学生による音楽演奏会の目的と意義

松代町教育長 島田 健 司

「私学の名門、早稲田大学が、松代町に校外施設を設置する。」かつて、私たちが夢にも考えみていなかったことが実現しました。

感慨ひとしおのものがありません。ここに至るまでの経過は後

ので、憶測することを避けませんが、基本的な考え方のなかに、大学と地域との関係を深め、大の機能を解放して、地方の文化振興に貢献するという、画期的な試みがうかがえます。

これは、私もへき地住民にとって大変嬉しいことです。この度、大学誘致に奔走下さった方々が中心となり、多数の有識者の賛同を得て、早稲田大学協力が組織され、大学の進出を記念する行事として、演奏会が企画されました。この企画については、大学当局も熱心に応援し、学生諸君も、松代町に寄せる期待から、積極的に参加する意欲を表明しています。

現状では、受入態勢が追いつかないのではという不安がありますが、是非この企画を成功させ、早稲田と松代の結びつきを強固なものに育ててゆくための基礎造りをしなければと思えます。

中央からへき遠の地であり、膚で中央文化に接する機会の少ない当町で、早稲田大学の持っている高い文化を吸収できることは、これからの青少年に対し、大きな刺激を与えることになりましょう。また、私も一般住民にとっても、何か新しい芽生えが出来るような期待感が湧い

て、故郷を見直すきっかけになるのでは、と思われれます。

町当局や議会が、早稲田誘致を強力に進めた理由もここにありました。

今回の催しが成功し、大学当局や学生諸君に、恵まれた自然と美しい人情の町松代を理解していただくことができれば、町の将来展望に新しい一ページを開くことになりそうです。

町民の皆様の深いご理解とご支援ご協力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

早大ハーモニカ・マンドリン
両部を迎えるにあたって
松代町教育振興会長 市川 明 治

八月二十七日
日二十八日
の二日間、早稲田大学のマンドリンクラブとハーモニカソサィティが来町され、松代と蒲生で演奏会を開かれました。

松代町の小・中学校教職員が教育の振興と親睦を図る目的で教育振興会をつくり、教育についての調査研究、講演会、講習会、芸能行事、複式※

※教育の研究等を主な事業として実施してまいりました。音楽分野も研修の面でコーラス部が楽しく勉強した時期もありました。現在はリコーダサークルが活躍しております。子どもたちには毎年音楽会を開催し、小規模校ではできない面、さらに主体的にとり組む表現活動をより活発にすべく努力してまいりましたが、テレビ、ラジオ、レコード等では満足できない「なま」の大演奏会、混声合唱等は、自然的、経済的条件下に恵まれないこの地域ではむづかしいことで、音楽主任会で話はあるがどうにもならないことでした。

早大進出とスポーツの振興

松代町体育協会長 関 谷 甲子夫

ございましょう、その感激はひとしおのものでした。そして又、昨年、県教育委員会でへき地の子どものために群馬交響楽団を派遣してくださいました。松代小学校の体育館に響く音は、豪壮であり、美しく、聴く人たちはすっかり陶醉しておりました。

早稲田大学のセミナーハウスを山平中学校あとに誘致したと、うちの木戸が大変乗り気なんだが、この話を進めるとしたら、どのような方法、どんな順序でやればいいのか」と藤巻氏から相談を持ちかけられたのは、昨年の春頃ではなかったかと記憶しております。その後、陰に陽に、話し相手をさせていただけたわけですが、このたび、要するに早稲田大学は私立大学の雄なのである。それだけではない。未だに学閥がものを言う日本の社会に於て、早稲田大学は、東大、京大、一橋大、東工大等と肩を並べる一流大学なのである。

ところが、一昨年、新潟大学教育学部高田分校の合唱団から松代小学校と松代高校の二会場が発表会を開催していただきました。目の前で聴く大合唱は子どもたちにとって初めてなので

町長さんをはじめ、町当局と、中に入って下さった藤巻氏の積極的な誘致運動が功を奏して、之が実現の運びとなりました。ことは、誠に喜ばしい限りであります。御尽力いただいた方々に深く敬意を表する次第であります。

こんど山平中学校跡地で勉強されるそうですが、これをご縁にいろいろな面で、おつき合いできれば幸いです。よろしくお願いします。

早稲田大学はご承知のように、明治一五年一〇月、大隈重信公によって開学され、創立百周年格できるようになれば幸であると思う。そしてこれを契機にいろいろの意味で多方面にわたって指導を受けられる機会に恵まれることと思う。

私の父は早稲田大学理工学部の卒業である。

私の幼い頃、父がよく早稲田大学の校歌「都の西北」を口ずさんでいたのを思い出す。歌の終りのワセダ、ワセダと七回くり返すのが印象的であった。いわば「都の西北」は、私の幼い頃の子守唄であった。

早稲田大学と私

県立松代高等学校校長 伊与部 芳 夫

私の父は早稲田大学理工学部の卒業である。

さて、天下の名門早稲田大学を迎えて、松代高校も含めて、この松代の町をより一層立派なものに発展させてゆこうではないか。

そして私の長男は早稲田大学商学部卒業である。間にはさまれた私だけがどうして早稲田大学に入らなかったのだろうか

現在、新潟県の高校教育界に於て、私と同年輩の早稲田大学出は、早い時期にサッサと校長になっていく。早稲田関などと云われても仕方あるまい。まあ

を迎えようとしている、日本でも超一流の立派な伝統を持った大学であります。

「都の西北 早稲田の森に 響ゆる豊は われらが母校」の校歌はあまりにも有名であります。

卒業された方々の中には、政界、財界、演劇界、文壇、スポーツ界など、それぞれの分野で日本を代表する一流人物を数多くはぐくみ、世に出されております。

このような立派な大学の施設が、松代町に出来るということ、松代町の発展に大きく好影響を与えるものとして、喜びに堪えません。

お聞きするところによると野球、テニス等のスポーツ施設も造られる可能性が大きいとか、又、大学側は、地元の方々との交流を強く望んでおられるようであります。

一流大学の一流施設をお借りしてするスポーツ、又、若さあふれる学生さんとの交流試合、加えて御指導いただけるなど、その情景を思うと、今から胸のときめきを覚えます。

これら施設を積極的に利用させていただき、且つ又、御指導いただくことにより、松代町のスポーツ水準の向上が図られ※

早稲田大学を迎えて

蒲生区長 山 岸 茂平次

昨年度限りで、町の中学統合によって三十有余年間当地域文化の中心的役割りを果たして来た山平中学校がなくなつて、正直言つて一抹の淋しさは隠し得ませんでした。

人間万事塞翁が馬と申します。今日、早大をお迎えするこ

とができるのは単なる偶然的な出来事ではなく、このことを実現させるまでには町当局が地域開発のため並々ならぬ御努力と当部落関係者地主各位の御協力と

の賜であることに思いを致し、その先見の明に対し衷心から敬意を表すると同時に深甚なる感謝を申し上げる次第でございます。

早稲田大学では全国各地に当地よりはるかに交通・通信事情のすぐれた立地条件のよい土地が沢山あるにもかかわらず、この蒲生の地をお選び下さいまし

※るならば、願つてもないことであるうかと、今から大いに期待しております。

来る八月二十七、二十八口に、協力会を中心とした町の有志諸兄の御努力にて、早稲田大学のマンドリンクラブ、ハーモニカソサイテーターによる一大演奏会が松代、蒲生の二会場にて行われるとのこと、われわれオールド音楽ファンは勿論のこと若き人々にも楽しい行事になることと存じます。

この団体の紹介は、それぞれの団体の代表から本紙にくわしく紹介をいただいておりますが、割愛させていただきますが、いずれにせよ、地元の方々の

心温まる交流が出来ることを希望する次第であります。

この度の学生さんとの出会いは、今後、長い付き合いになるだろうと思われる最初の出会になるわけです。何事も第一印象が大切であるといわれております。喜んでいただけるような好感のもてる素晴らしい出会いになることを希望すると共に、お互いにそのような努力を払いたいものだと念願いたしております。

これを機会に、早稲田大学と松代町の友好の絆が固く結ばれることを祈念してご挨拶いたします。

早稲田大学の進出を歓迎

万羽 卓 司

たことに対して、大変有難く厚く御礼申し上げます。部落民を挙げて心から歓迎の誠を捧げるものです。

早稲田大学におかれましては中・長期の教育計画をおもちのこととは存じますが、当地における諸般の施設を一日も早く充

実下さいまして、入手されまし

た土地を御活用下さると同時に当地方の文化活動のパイオニアとして地域住民を御指導下さるとともに、部落民との融和をはかり、過疎で沈滞している気風を刷新下さいませようお願い申し上げます。

「都の西北」は、「あゝ玉杯に」とともに少年時代に口ずさんだ好きな歌の一つでありました。上京後は、大学前を通ることとあると、よく構内に入り、大隈講堂などを見上げては裏門を抜け、また、千駄ヶ谷駅前から列をつくり、詰えりの背なかを引き裂かれながら手に入れた一枚の早慶戦の外野券に雀躍した思い出もあります。しかし、当時の私には、早稲田の門はあ

こがれの的であっても、手の届かぬ高嶺の花でありました。

社会に出ていくつかの職場を経験しましたが、どの職場でも決まったように、いわゆる早大出の方がおられて、しかも私にとつてはどの方も有難い指導者でありました。このように、政界、官界、実業界から文壇に至

歓迎！早稲田大学

小 塚 又 七

このような名門中の名門校の校外施設が松代の地に進出するとの朗報は、何よりも私の胸を強くうちます。「学問の独立」を大理想とする建学の精神に貫かれた百年の伝統がこの地にも

分火されようとしております。四周を山にかこまれ、冬季は豪雪に阻まれたこの地域は、近頃は電波に乗って文化の風を受け入れることはあつてもそれはほんの表面的のこと、真に学問する生の姿には接することもなく、中には大学教育への誤った認識を持つ者さえあつたようであり、ここには大学の進出があるとは夢のような思いがします。

大学の雰囲気を知ること、この地域の青少年が受ける影響はいかばかりかと、過ぎ去った青春を想起しながら、欣快の気持ちで一ぱいでありました。

この難事業を成功させた蔭の方の並々ならぬ御努力にも感謝の念は禁じ得ません。町を挙げて大学の進出を歓迎し、大学の発展を祈念するとともに、併せて地域青少年の前途に光明となることを希求しようではありませんか。

早稲田大学が村に来る。このニュース(五三・九・二〇)ほど蒲生部落を湧き立たせた朗報は、何十年来、いや村の誕生以来曾てなかったことではないで

しょうか。

× × ×

三十余年の伝統をもつ山平中学校を廃校にすることは、私(地域代表)にとつては誠に忍※

※び難い痛恨事でした。部落の利害得失を考えるならば、政治生命を賭けても絶対反対を貫かねばならぬのですが、年々生徒が減少する現実の小規模校では、到底時代の進展に即応する教育は望むべくもないという見地から、泣いて馬鹿を斬るという古武士そのままの心境で、率先して学校統合に邁進した訳でした。それだけに、中学跡地にはそれ相応の施設をという悲願を立て、町長さんをはじめ関係方面に再三懇望したのですが、僻遠の而も立地条件に恵まれないあの跡地を、果して希望するものが

町民の皆様へ

松代町早稲田大学協力会会長 佐藤 則夫

統合中学校建設に伴い廃校となりました旧山平中学校跡地に早稲田大学が校外施設をつくられることになりましたが、このことは、早稲田大学OBの一人として誠に喜ばしい限りです。立地条件に恵まれているとは言えない松代町に、校外施設とは言え、早稲田大学の施設ができるということは、まさに歴史的な出来事であり、過疎に悩む松代町にとって大いなる希望の光と申せましょう。松代町を覆

あるだろうかと思える時、実に暗然たらざるを得ませんでした。それが町長さんのご活躍とご熱意で大学誘致の声をちらほら聞くようになり、九月三十日施設部長さんが来町、現地視察をされてからは、大きく前進を見ようになりました。その後、隣接地(武田茂八他四氏)の買収を依頼され、私は直ちに地主交渉に入ったのですが、部落の発展につながるならばと、即座にご快諾をいただいたことは、ほんとうに頭の下る思いでした。更に「松の木づんね」一帯をとの意向が伝えられましたので、

う沈滞ムードを一掃する千載一遇のチャンスであり、事の重大さを認識し、慎重に対処する必要があるのではないのでしょうか。その意味でも、地元有志の方々と結成いたしました松代町早稲田大学協力会といたしましたも、町民の皆様と早稲田大学の良きパイプ役を果すべく努力してゆきたいと思っております。皆様の温いご支援、ご協力をお願いいたします。

部落を挙げて受入体制を整えるべきだとの判断から区の仕事とし、いろいろ紆余曲折はありましたが、三月二十七日(一部は五月)全地主の了解を得るに至りました。

それも部落民との接触交流を深めながら学問の深奥を究めようというのです。有形無形のメリットがあることは、火を見るよりも明らかです。その第一弾として八月二十七日、二十八日にハーモニカソサイティとマン

～ 学生さんの民宿先募集 ～

大学側・学生さんは、地域住民とのふれあいを求めています。フェスティバルに来町の学生さんを温く迎えてくれる民宿先を募集しております。

～ 松代町早稲田大学協力会会員募集 ～

大学と松代町のパイプ役を果すべく、一部有志で発足したばかりですが、この輪を大きく広げるため、町民の皆様のご協力を得たく、ご賛同いただける方々を募集しております。

- 問い合わせ・申込み先
- 室野 佐藤則夫(やまさ) ☎ 8-2026
- 蒲生 小堀 清(ますむらや) ☎ 7-2062
- 松代 藤巻幹雄(ふじや) ☎ 7-2022
- 〃 鈴木益夫(ふくみや) ☎ 7-2177
- (勤務先 7-2026)

▶ 申込〆切日 8月20日

編集後記

梅雨明け宣言を聞いた途端の猛暑です。皆様いかがお過ごしですか。本日、広報まつだい、歓迎、早稲田大学 特集号をお届けいたします。

お忙しい中、ご寄稿下さいました大学側の方々、町関係の方々、又町内有識者の方々に心からお礼申し上げます。

又、発刊に至るまでの間、多くの有志の方々から激励のお言葉とお力を頂戴いたしました。厚くお礼申し上げます。

つたない編集でお見苦しい点が多々あるかと存じますが、ご海容下さいまして、私共の心だけはお汲み取り下さいますようお願い申し上げます。

私達は、八月二十七・八日に早稲田大学フェスティバルと銘打って、遠来のお客をお迎えする事になりますが、是非、温くお迎えしたいものだと思っております。町民の皆様方の絶大な御支援と御協力をお願い申し上げます。

末尾ではございますが、暑さ益々厳しさを増す折柄、皆様方のご健祥をお祈りして擱筆いたします。

(松代町早稲田大学協力会

編集部 一同)